

基本目標 4 明日を担う人を育て 一人ひとりの個性を活かすまち

政策 11 未来を担う人づくりの推進

施策 27. 学校教育の充実

関連するSDGsのゴール



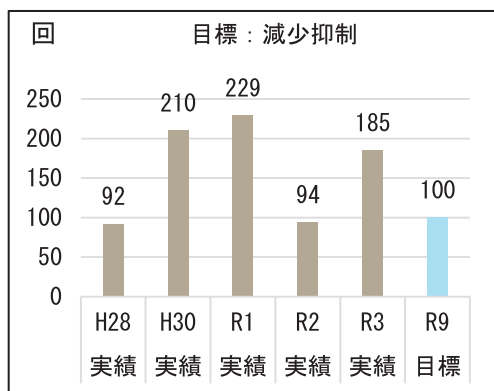
施策を取り巻く環境

- 個性豊かで心身ともにたくましい幼児・児童・生徒を育成していくため、安全・安心な教育社会を創出していく必要があります。
- 特色ある教育の推進、国際化・情報化などの変化に即した教育の実践、学校・家庭・地域の連携強化による教育力の向上、認定こども園・小学校・中学校と高等学校の連携強化、人材育成のための奨学金制度の充実、障がいを持つ児童・生徒の教育の充実などを推進していく必要があります。

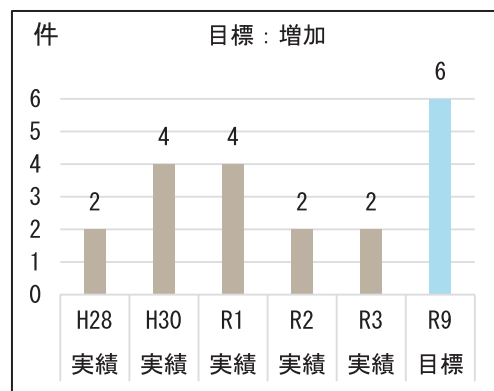
前期計画の進捗

数値目標（ベンチマーク）と実績

1. 学校と地域ネット推進事業実施数



2. 町内高等学校との連携・交流事業実施数



これまでの主な成果

- 特色ある学校経営事業の実施により、恵まれた自然環境や町の歴史・文化を学習に活用するなど、郷土への愛着が醸成されました。
- 奨学金制度の充実を図り、人材の育成と確保に努めたほか、小学生・中学生の給食費の無償化を実施し、子育て家庭の経済的支援を行っています。
- 質の高い外国語指導をするため、ALTを派遣し英会話指導を行うとともに、スクールサポーターによる特別な支援を要する児童生徒へ学校生活上の支援や学習補助を行い、学べる環境づくりの向上が図られました。
- 令和5年4月の学校統合により、小・中学校とともに各地区1校ずつの配置（小学校：8校→3校、中学校：4校→3校）としたほか、空調設備を整備し、学習環境の向上を図りました。

後期基本計画の方針

- 未来を担う子どもたちの生きる力の育成と、学校・家庭・地域の連携強化による教育力の向上を目指していくため、幼児教育・義務教育・障がい児教育の推進および学習環境の整備を図るとともに、地域の特性・環境を活かした特色ある学校経営に対する支援策の充実に努めます。
- 高等学校との連携・交流の推進に努めるとともに、人材育成・確保のために奨学金制度の充実を図ります。
- 学校給食での地産地消の推進、学校給食を通じた食育の普及・啓発に努め、郷土愛を醸成します。

住民や地域に期待する役割



住民・地域

- 子どもの心身の健康を育み、規範意識の基盤をつくる 住民
- 安全な環境をつくり、子どもたちに多様な体験の場を提供 地域
- 学校現場への地域の積極的な関わり 地域

主な取り組み

(1) 幼児教育の充実

- 家庭・地域・小学校との連携強化により、総合的な幼児教育の充実・促進を図り、家庭の経済事情に影響されずすべての幼児が利用できるように、各種支援事業の充実を図ります。

(2) 義務教育の充実

- 地域の特性・環境を活かした特色ある学校経営への取り組みや、社会で活躍できる人材の育成、国際化・ＩＣＴ化に対応できる人材の育成を推進するとともに、教職員の研修・研究体制の整備、地域の優れた人材を活用した学習環境の整備を図ります。
- 存続する学校校舎における教育用資機材の整備をしていくとともに、統合される校舎跡地の有効な活用方法について検討します。

(3) 高等学校との連携

- 青森県立名久井農業高等学校と連携して行っている農作業支援や南部太ねぎ商品化など、地域産業との連携を引き続き推進・拡充していきます。
- 青森県立名久井農業高等学校との連携を強化し、認定こども園・小学校・中学校の総合学習への協力や地域行事への参加など、交流の活性化を促進します。また、名久井農業高校生徒の全国募集に係る支援計画に基づき、高校のさらなる魅力化を図り、一層光り輝く存在として存続することを後押しします。

(4) 障がい児教育の充実

- 特別に支援を必要とする児童生徒への教育相談・指導の実施、障がいの実態に応じた指導計画に基づく特別支援学級の運営などにより特別支援教育体制の充実を図るとともに、身体の障がいに対応する施設環境の整備を推進します。

(5) 教育環境の整備

- 奨学金制度の拡充、バリアフリー化に向けた施設整備、学校図書の実、積極的な学校開放、安全・安心な学校給食などにより、よりよい教育環境の整備を推進します。

施策 28. 生涯学習・社会教育の充実

関連するSDGsのゴール



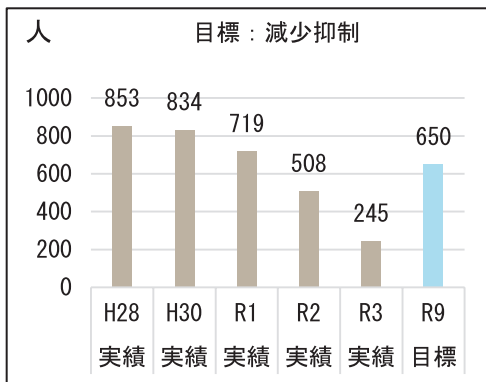
施策を取り巻く環境

- 本町では、生涯学習の拠点となる公民館などを中心として、特色ある各種講座をはじめ、グループでの自主的学習活動を支援するためのパワーアップ教室を開設するなど、いつでも、どこでも、だれでも自発的に学べる体制づくりを進めています。
- 今後は、全町的な生涯学習推進体制の整備・充実に努めていく必要があります。常に町民の学習ニーズの的確な把握に努めながら、指導者の育成、多彩な学習プログラムの開発整備および学習情報の提供に努めていくとともに、町民の自主的な学習活動を支援していく必要があります。
- 学校・家庭・地域社会が子育てに関してそれぞれの役割や責任を十分に果たすために、三者が協働するネットワークを構築するとともに、学習環境を整備する必要があります。

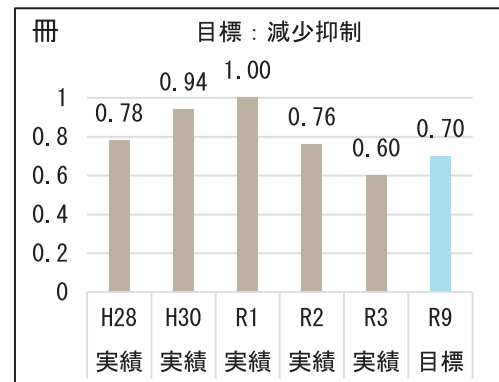
前期計画の進捗

数値目標（ベンチマーク）と実績

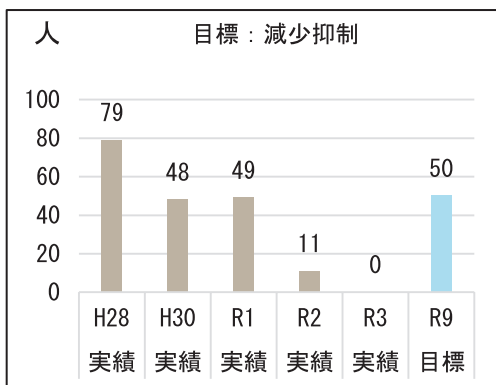
1. 公民館講座受講者数



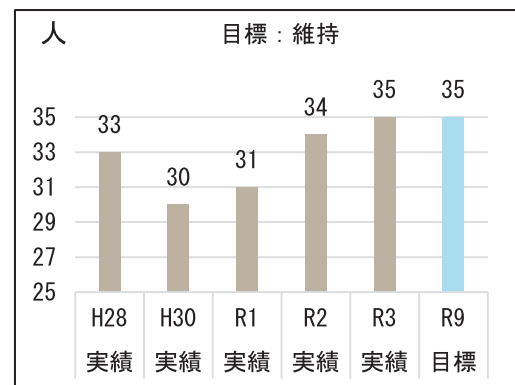
2. 人口1人当たり図書貸出冊数



3. 青少年体験学習受講者数



4. 子ども会ジュニアリーダー登録者数



これまでの主な成果

- 趣味の教室や公民館講座の開催により、町民が学びたいことを自発的に学ぶことのできる体制を整備しました。
- 家庭教育セミナーやおもしろ体験教室の開催により、家庭教育のあり方を学ぶための学習機会の整備・支援をしました。
- 学校と地域ネット推進事業による地域の人材を活用した学習、生活体験・交流活動を通じて子どもの豊かな人間性が育まれました。
- 児童生徒へのキャリア教育推進により、社会的・職業的に自立できる人材育成が図られました。

後期基本計画の方針

- 生涯にわたって学べる環境整備のため、生涯学習拠点施設の整備・充実を図り、特色ある生涯学習プログラムを展開します。
- 社会の変化に対応しながら、ライフステージに応じて自己の啓発を目指し、社会教育および家庭教育を推進します。

住民や地域に期待する役割



住民・地域

- 自ら進んで教養を高めるため学習活動に取り組む 住民
- 地域ぐるみで学習する機会や環境づくりに努める 地域

主な取り組み

(1) 指導者の確保・育成

- 生涯学習の充実を図るためには、地域の優れた人材を活用していくことが不可欠であることから、指導者やボランティアなどの確保と育成を図ります。

(2) 地域の特性を活かした学習プログラムの整備

- 町民が生きがいを持った生活を送ることができるよう、社会情勢やニーズに合った講座を開設するなど学習機会の提供に努めるとともに、各種講座に参加した町民が、さらなる学習の場を求め、自主的な学習活動へスムーズに移行できる体制づくりを目指します。

(3) 地域における学習活動の促進

- 町各部局の関係機関との連携を図りつつ、生涯学習関連施設の利用申請の簡素化・統一化などにより、利用しやすい環境づくりを推進します。
- 特色ある講座および図書室における蔵書の充実などにより、青少年のふるさと意識の向上と地域の活性化を図り、地域交流、世代間交流を推進します。

(4) 家庭教育の向上

- 幼児期、学童期および思春期における家庭教育のあり方を学ぶための学習機会の整備・支援に努めるとともに、学校・家庭・地域社会が子育てに対して、それぞれの役割や責任を果たすため、三者によるネットワークの構築に努めます。

(5) 青少年および青年教育の推進と活動支援

- 地域の人材を活用した学習や、生活体験・交流活動を通じて子どもの豊かな人間性を育むための教育活動の推進、子ども会などの青少年団体の支援に努めます。また、地域の将来を担う青少年や、明日の親となる青年の学習活動を推進するとともに、青年団体の支援に努めます。

(6) 生涯学習の推進と活動支援

- 生涯学習活動の支援を推進するとともに、一人ひとりの学習と社会参加に向けて、学習者が自発的に学べる体制の整備に努めます。



施策 29. 生涯スポーツの振興

関連するSDGsのゴール



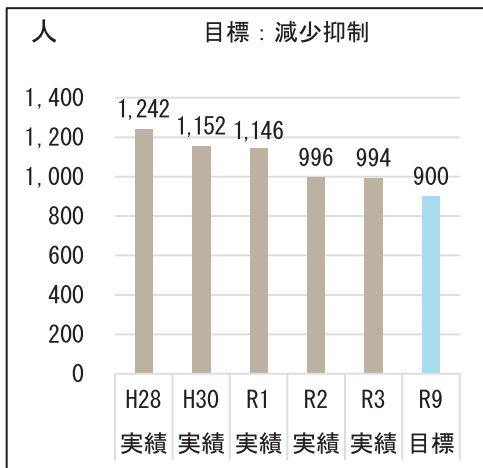
施策を取り巻く環境

- 少子化などを背景に学校での部活動や地域でのスポーツ少年団などの参加者数が減少し、一部の団体では活動や存続が困難となりつつあります。
- 一方で、教育委員会、体育協会、スポーツ団体およびスポーツクラブが中心となり、スポーツ教室、スポーツ大会などの体育イベントの開催を通じて、町民の健康・体力づくりの推進と生涯スポーツの振興をしていく必要があります。
- 今後は、引き続き体育施設を整備するとともに、学校開放の検討などを推進していく必要があります。

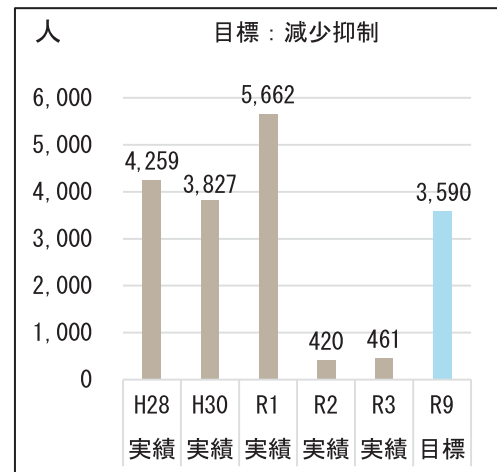
前期計画の進捗

数値目標（ベンチマークと実績）

1. 体育協会加入者数



2. スポーツ教室・大会等参加者数



これまでの主な成果

- 名川中学校に隣接して、陸上競技場やサッカー場、多目的球技場を設けたふるさと運動公園を整備し、利用促進を進めました。
- 利用しやすい体育施設の環境整備などにより、町民の既存施設の利用促進を進めています。
- 研修会に参加することによりスポーツ指導者の技術・指導力の向上が図られました。
- スポーツ教室およびスポーツ大会の充実により、町民のスポーツ能力の向上意識が高められるとともに、地域間交流が図られました。

後期基本計画の方針

- 日常的にスポーツを行い、誰もが気軽に親しむことのできる生涯スポーツの実現のため、体育協会をはじめとするスポーツ団体の活動支援、スポーツ教室やスポーツ大会の充実を図ります。
- 町内の体育施設の整備・充実を進めます。

住民や地域に期待する役割



住民・地域

- 日頃からスポーツや運動を実践する 住民
- 地域ぐるみでスポーツに親しむ機会・環境づくり 地域

主な取り組み

(1) 運動公園および体育施設の整備

- 既存の運動公園や体育施設の機能充実、利用促進を図るとともに、学校施設の開放を検討し、町民が利用しやすい環境整備に努めます。

(2) スポーツ指導者の育成およびスポーツ団体の活動支援

- スポーツ指導者の育成・確保を図りつつ、体育協会、スポーツ団体およびスポーツクラブの活動の促進や地域の人材を活用したスポーツ活動支援体制の整備を進めます。

(3) スポーツ教室およびスポーツ大会の充実

- スポーツ教室およびスポーツ大会の開催により町民のスポーツ能力の向上、地域間・世代間交流を推進するとともに、町民の健康の維持・増進に向け、子どもから高齢者までが一緒に楽しめるニュースポーツ*の普及を図ります。

*ニュースポーツ：レクリエーションの一環として気軽に楽しむことを主眼としたスポーツ。（バウンドテニス、ペタンク、カローリングなど）

施策 30. 青少年健全育成の推進

関連するSDGsのゴール



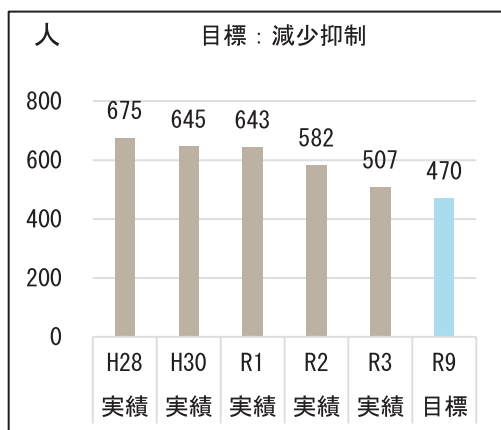
施策を取り巻く環境

- 本町では、学校・家庭・地域社会が協力・連携し、次代を担う青少年を健やかに育むために、学校支援ボランティア活動、家庭教育に関する相談会、家庭教育講座などを開催しています。
- 今後は、青少年が地域との交流を通じて自立性や社会性を身につけ、健やかに成長できるように、学校・家庭・地域などとの連携や家庭教育や子ども会をはじめとする各種地域活動により、非行防止活動や青少年団体の育成および活動の支援などを進めていく必要があります。

前期計画の進捗

数値目標（ベンチマークと実績）

1. 青少年団体への加入者数



これまでの主な成果

- 非行防止活動、環境浄化活動などの広報と啓発活動により、家庭・地域の養育機能の向上に努めました。
- 家庭教育セミナーやおもしろ体験教室などの開催により、学校・地域・家庭の連携強化、地域の教育機能向上が図られました。

後期基本計画の方針

- 青少年健全育成推進のため、学校・地域・家庭の連携強化、子育てや家庭教育の学習機会充実、地域の教育機能向上、非行防止・環境浄化活動を展開します。
- 青少年団体の育成・支援、青少年の自立性・社会性を培うための地域活動などへの参画を促進します。

住民や地域に期待する役割



住民・地域

- 「地域の子どもは、地域で育む」 機運づくり
- 青少年に社会を生き抜く力を身に付けさせる
- 青少年が安心して健やかに暮らせる環境づくり

地域

地域

地域

主な取り組み

(1) 非行防止活動、環境浄化活動などの推進

- 学校・家庭・地域社会などが連携を強化し、情報の共有による非行の早期発見などの未然防止活動や環境浄化活動を展開するとともに、家庭教育や青少年健全育成に関わる広報・啓発活動の充実などを通じて、明るい家庭づくり、家庭・地域の教育機能の向上に努めます。

(2) 家庭教育に関する講座の開催および相談・情報提供の充実

- 青少年健全育成には家庭の教育力を高めていくことが不可欠であることから、子育てや家庭教育に関しての学習機会の充実を図るとともに、相談窓口の一本化に向けた環境整備を検討します。

(3) 青少年の地域活動などへの参画機会の充実

- 青少年が人々との交流を通じて、自立性や社会性を身につけていけるように、地域の子ども会活動や地域行事などへの親子ぐるみでの参画を促進します。

(4) 青少年団体の育成・支援

- 現在の少子化時代において、協働での体験を通じて健やかに成長していけるよう、青少年団体への加入を促進するほか、ジュニアリーダー研修会への参加の意義を広く周知し、地域で活躍できる人材の育成に努めます。

施策 31. 幅広い視野をもつ人材の育成

関連するSDGsのゴール



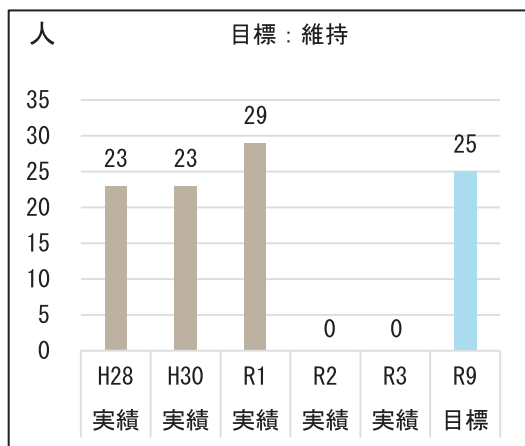
施策を取り巻く環境

- 本町では、友情や郷土愛を育むことを目的として、小学生を対象に国内交流を実施しているほか、訪問国の歴史・文化・産業などの視察や国際協力精神涵養、健全育成を図ることを目的に中学生を対象とした海外派遣交流を実施しています。
- 今後は、多様な価値観の形成や人材育成のための小学生国内交流の継続実施、南部氏ゆかりの市町との交流を通じた町の活性化などを進めていく必要があります。
- 広い視野と豊かな国際感覚を身につけた人材育成などを推進するため、中学生海外派遣交流の継続実施、ALT（外国語指導助手）などによる外国語教育の充実、案内板・道路標識・観光パンフレットへの外国語併記やピクトグラムによる国際化に対応したまちづくりなどを進めていく必要があります。

前期計画の進捗

数値目標（ベンチマークと実績）

1. 中学生海外派遣交流事業参加者数



これまでの主な成果

- 南部氏ゆかりの自治体と交流し、歴史やルーツを共有することで参加児童の親睦が図られました。
- 中学生の海外派遣交流により、海外の文化に触れるとともに現地の中学生との交流などを行っています。
- 町内ならびに周辺地域在住外国人の支援に係る拠点施設として国際交流センターを設置し、日本語教室のほか、地域住民との交流イベントを開催しました。

後期基本計画の方針

- 小学生国内交流や中学生海外派遣交流については、内容の充実を図りながら国内外の地域との交流を継続していくとともに、多様な価値観の形成と広い視野を持つ人間形成や国際感覚に満ちた人材育成に努めます。
- 南部藩発祥の地という特性を活かして、南部氏ゆかりの市町と交流することで町への郷土愛を育むとともに、案内板や道路標識、観光パンフレットの外国語併記など推進し、国際化に対応したまちづくりを推進します。

住民や地域に期待する役割



住民・地域

- 実施するイベントへの参加 住民

主な取り組み

(1) 国内交流の推進

- 南部氏ゆかりの市町との交流を継続していくとともに、新たな交流による町の活性化の可能性を検討し、多様な価値観の形成や人材育成を推進します。

(2) 国際交流の推進

- 国際化の一層の進展に対応し、広い視野と豊かな国際感覚を身につけた人材を育成していくとともに、町内在住の外国人や観光などで訪れる外国人が、町内で気軽に行動できるように、案内標識や道路標識、観光パンフレットの外国語併記やピクトグラムなどを整備し、海外の人と積極的に交流するまちづくりを推進します。

(3) 産学官連携の推進

- 経済活動に直接結びつく民間企業やNPO法人などの広い意味での「産」、大学や高等学校などの「学」、政府・地方公共団体などの「官」の連携の中で、幅広い視点をもつ人材の育成を推進します。

政策 12 貴重な地域文化の継承と新たな文化の創造

施策 32. 芸術・文化の振興

関連するSDGsのゴール



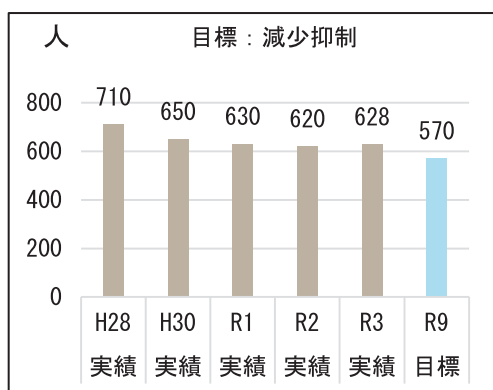
施策を取り巻く環境

- 本町では、公民館講座や趣味の教室などを通じて様々な芸術文化に触れる機会を提供するとともに、文化協会をはじめとする芸術・文化団体の育成および支援や鑑賞機会の提供などに努めています。

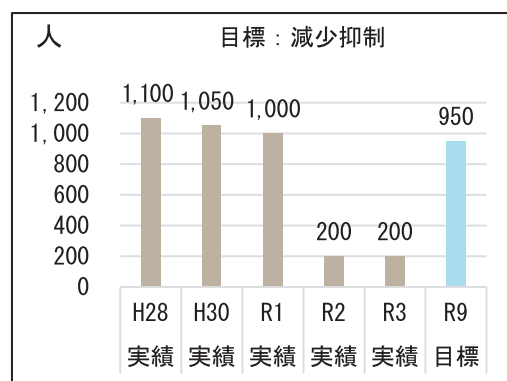
前期計画の進捗

数値目標（ベンチマークと実績）

1. 文化団体（文化協会を含む）加入者数



2. 芸術・文化鑑賞会および発表会参加者数



これまでの主な成果

- 趣味の教室や公民館講座の実施、発表・鑑賞の機会の提供により、町民が芸術・文化活動を学ぶ機会を作るとともに、文化協会の活動を支援することで各種発表会およびサークル活動の活性化が図られ、一部では町民の自主的な活動につながっています。

後期基本計画の方針

- 芸術・文化団体の育成や支援、各種学習機会の提供などにより、町民の自発的な活動を促進するとともに、優れた芸術・文化活動の鑑賞機会の拡充と発表機会の充実に努めます。

住民や地域に期待する役割



住民・地域

- 芸術・文化に親しみ普及に努める 住民

主な取り組み

(1) 芸術・文化団体の育成・支援

- 文化協会をはじめとする芸術・文化団体の育成・支援に努めるとともに、各種公民館講座や趣味の教室などの学習機会の提供により、新しい分野の活動支援に努め、町民の自主的な活動を促進します。

(2) 芸術・文化に親しむ機会の充実

- 優れた芸術・文化の鑑賞機会などの充実を図り、芸術・文化に関する町民の関心と意識の高揚に努めるとともに、町民の芸術・文化活動を支援します。



施策 33. 歴史・文化遺産の保存と伝承

関連するSDGsのゴール



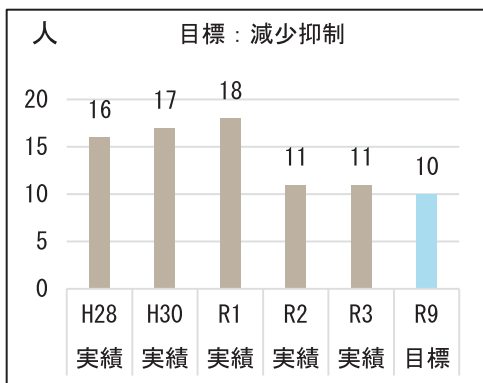
施策を取り巻く環境

- 国・県および町指定文化財の保護・保存を図るとともに、南部氏関連城館の発掘調査を計画的に進め、全国に情報を発信していく必要があります。
- えんぶりをはじめとする各種郷土芸能を保護・伝承していくために、指導者や後継者の育成に努めるとともに、郷土芸能発表会や南部地方えんぶりの開催など、発表機会の充実を図る必要があります。

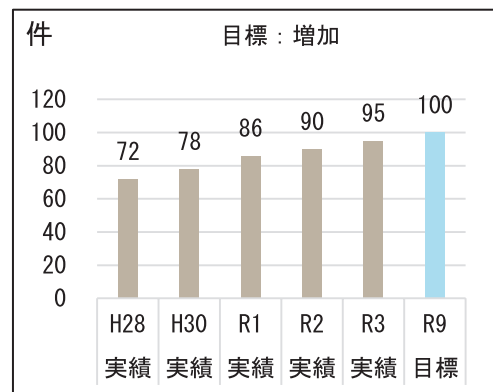
前期計画の進捗

数値目標（ベンチマークと実績）

1. 郷土芸能後継者育成事業参加者数



2. 国・県・町指定文化財件数



これまでの主な成果

- 史跡聖寿寺館跡の発掘調査により、国内最大級の版築土橋跡などの遺構や東日本初の真鍮生産にかかる取っ手付き埴塼など、貴重な出土品の発見が相次ぎました。
- 平成31年4月に史跡ガイド「南部屋形聖寿寺館ガイドの会」が発足し、町民や来訪者へ発掘品の紹介・PRを行うとともに、毎年ガイドの養成講座を開催し、体制を整備しています。
- 地域に残る貴重な文化財を調査し、適正に国・県・町文化財への指定を進めました。

後期基本計画の方針

- 南部藩発祥の地といわれる本町には、貴重な文化財や郷土芸能が数多く遺されているため、文化財の調査・保護・活用、郷土芸能の保存・継承に努めます。
- 学校教育と連携して地域の歴史および文化の学習機会の拡充により郷土愛の醸成を図るとともに、出土品や郷土資料などの展示収蔵施設の整備や案内板などの充実に努めます。

住民や地域に期待する役割



住民・地域

- 地域の歴史・文化を学び関心を持つ 住民
- 地域の歴史・文化の保存・継承に努める 地域

主な取り組み

(1) 南部氏関連城館などの保存・調査・整備の充実

- 史跡聖寿寺館跡をはじめとする南部氏関連城館の発掘調査を進め、町の歴史的な価値を高めていきます。
- 聖寿寺館跡の土地公有化、史跡公園としての整備を進め、貴重な歴史遺産を保存・活用していきます。

(2) 文化財の調査・保存

- 地域に残る貴重な文化財を調査し、町文化財などに指定・保護するとともに、後世に継承していきます。

(3) 展示・収蔵・学習施設の充実と有効活用

- 史跡聖寿寺館跡の出土品や貴重な文化財などの郷土資料を常時展示・収蔵し、町内外の人々に本町の歴史を伝えることができるような施設整備を進めるとともに、案内標識などの整備・充実に努めます。

(4) 南部学研究会の開催

- 発掘調査成果や文献調査をもとに、本町や南部氏の歴史を整理・研究するとともに、歴史講演会などを通じ、全国に本町の歴史的な重要性を発信していきます。

(5) 歴史的価値の普及

- 学校教育と連携して、体験発掘や出前授業など地域の歴史および文化を学ぶ機会を拡充し、郷土愛の醸成に努めます。

(6) 郷土芸能の保存・伝承活動の充実

- 郷土芸能発表機会の充実に努め、郷土芸能の指導者および後継者の育成に努めるとともに、郷土芸能保存団体による継承活動の支援に努めます。
- 郷土芸能の歴史的背景を調査し、保存していきます。